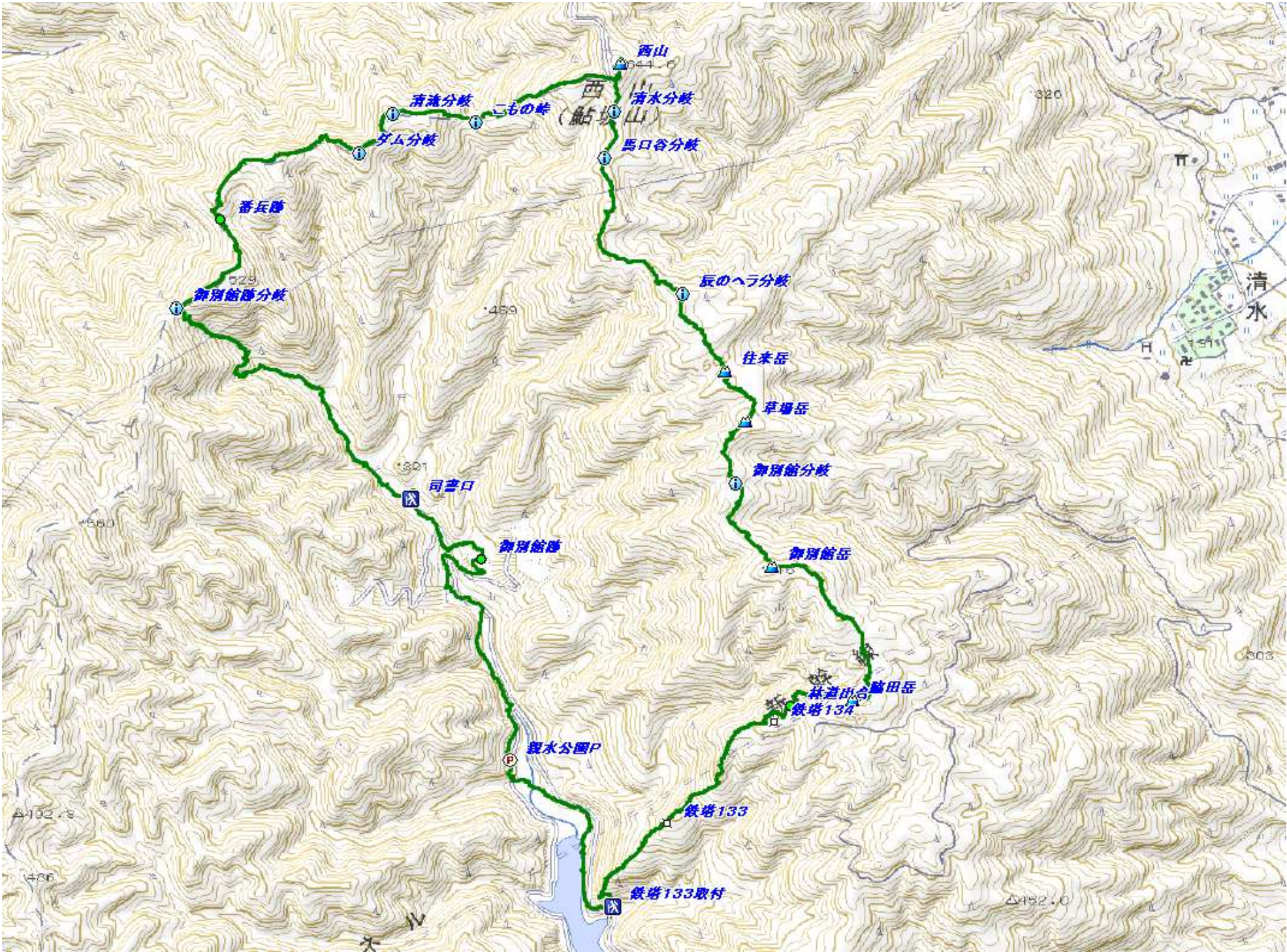


140408 西山(645m)～脇田岳(605m)

9.9 km 4時間59分



- 親水公園P
- ↓ 0:17
- 御別館跡
- ↓ 0:10
- 司書口
- ↓ 0:53
- 御別館跡分岐
- ↓ 0:48
- こもの峠
- ↓ 0:21
- 西山(645m)
- ↓ 0:25
- 辰のへら分岐
- ↓ 0:09
- 往来岳(595m)
- ↓ 0:08
- 草場岳(595m)
- ↓ 0:26
- 御別館岳(616m)
- ↓ 0:17
- 脇田岳(605m)
- ↓ 0:07
- 林道出合
- ↓ 0:25
- 铁塔133
- ↓ 0:18
- 铁塔133取付
- ↓ 0:15
- 親水公園P

# 西山(645m)～脇田岳(605m)

2014.04.08(火)晴れ

親水公園P～御別館跡～司書口～御別館跡分岐～こもの峠分岐～西山(645m)～辰のへら分岐～往來岳(595m)～草場岳(595m)～御別館岳(616m)～脇田岳(605m)～鉄塔133取付～親水公園P



犬鳴ダム奥の親水公園Pに車を止め、歩き始める。



司書橋を渡る。



橋を渡ると案内板が立つ。左の御別館跡へ向かう。



犬鳴川の左岸に沿って林道を緩やかに上る。



御別館跡へのゲートの脇を抜けて上って行く。



御別館跡の正門跡。



加藤司書忠魂碑。



犬鳴川の起点に着いた。



司書口 植林帯へ踏み跡が伸びている。傍に東福岡新幹線98号の杭が立つ。



前方に砂防ダムが見え隠れする所で、沢を渡り右岸沿いに緩やかに上る。



やや急な斜面の不鮮明な踏み跡を見失わないように辿ると、前方に縦走路が見えた。



御別館跡分岐に到着。尾根を右へ伝う。



番兵跡を通過する。



ダム分岐に着く。



清滝分岐を通過する。



こもの峠に到着。北と南にコースがある。



トラロープが張られた急な斜面を登る。



前方に石積みが見えると西山である。



右へ回り込むと「防衛省用地につき立入禁止」の立札があり、トラロープが張ってある。



山頂部は格納庫が点在し自衛隊の演習地となっている。



西山(645m)の山頂。1等三角点で別名鮎坂山とも云う。北東から西にかけての展望が得られる。



立花山の奥に福岡市を望む。



山頂から南へ伸びる縦走路は、緩やかな階段下りから始まる。



清水分岐の案内を見る。



左右に踏み跡が分かれるが、右側を歩く。



馬口谷分岐を通過する。



尾根筋は鉄塔建設中で迂回路を歩く。



コブだらけの木の左を通過する。



辰のへら到着。



往來岳(595m)の山頂。展望は得られない。



ネットの際に沿って右側を進む。奥の明るい所まで林道が来ている。



鉄塔136越しに岡垣方面を望む。



御別館岳の方面と鉄塔135。



草場岳(595m)の山頂。近くに鉄塔136が建つ。



御別館岳(616m)の山頂部。展望なし。旧名は乙野岳と呼んでいた。



脇田岳(605m)の山頂。展望なし。西へ伸びる小尾根を下り左下に道が見えたら、そこを目指して下って行く。



鉄塔134まで作業道が伸びていた。ネットに沿って右に回り込むとプラ階段が現れるので、拾いながら降る。



鉄塔133を抜け、プラ階段を拾いながらドンドン下る。



左側に放置されたアンテナが。ダム工事の飯場の遺物か？



出口は近い。



出口が見えた。



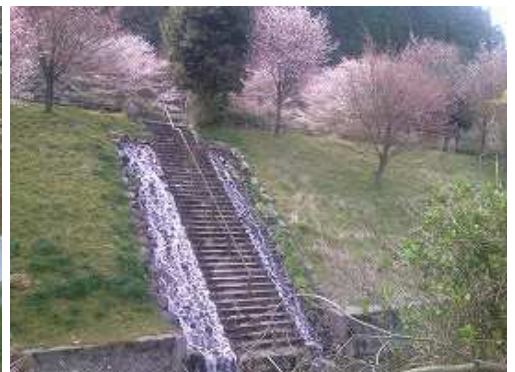
鉄塔133への取付きに降りてきた。長い下りだった。



ダム湖に沿って親水公園へ戻る。前方に今日歩いた縦走路が見える。



親水公園に着いた。車は対岸なので川を渡る。



階段を上ると右手が駐車地である。辺りの桜が綺麗だった。